

地域の話し合いで農地利用のエリア分けと実証事業に取り組み、地域の活性化を目指す

富山県立山町

認定農業者等数

10 経営体

農地面積

465 ha

主な農畜産物

米・大豆・肉牛

地域の課題

○釜ヶ渚地区は、立山連峰の麓に広がる田園地帯であり、特別豪雪地帯の指定を受けている。

○多くの農地で基盤整備が実施されたが、人家に近い農地は基盤整備を行わず、狭小・不整形な農地が残っている。

○高齢化や後継者不足に伴う農業者の減少により、農地の維持管理が困難になりつつある。特に不整形な農地において耕作放棄地が増加し、農地の荒廃が危惧されている。

このため、地域の土地利用について考える、最適土地利用対策事業に取り組むこととした。



取組概要

○令和3年度に、地域の話し合いを通じて、耕作利用を推進する農地と粗放的利用により維持管理を図る農地等をエリア分けし、利用計画を協議して、最適土地利用計画を作成した。

○令和4年度からは、放牧やハーブ等による粗放的管理の実証に取り組むとともに、地域の様々な組織・団体を加えて「釜ヶ渚みらい協議会」を設立。農村型地域運営組織モデル形成支援事業により、地域の活性化を目指して、農地保全・地域資源開発・生活支援の取り組みについて話し合い、地域将来ビジョンを作成した。

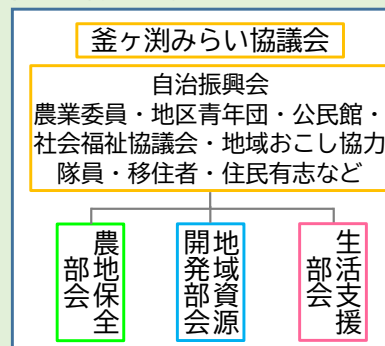


推進体制

○自治振興会長を中心として、農業委員や地区青年団、公民館、社会福祉協議会、地域おこし協力隊員、移住者、住民有志などが加わり、地域の諸課題について取組内容を協議。町・JAなどがサポートする。

○実行メンバーより農地保全部会・地域資源開発部会・生活支援部会を構成し、将来ビジョンの各取組を進めている。

○協議会だよりを発行して、話し合いの内容や取組状況を地区住民へ共有している。



今後の予定

○各部会において実証事業に取り組む。

農地保全…粗放的管理（放牧・ハーブ・蜜源作物など）

コミュニティガーデン、市民農園としての利用

地域資源…自然栽培米、地場料理メニュー開発、農泊の実践

生活支援…地場農産物の直売、健康教室・体験イベントの開催

○話し合いによる農地利用のエリア分けや不整形農地活用の実証を活かしながら、地域計画の策定に向けて、本協議会での話し合いを進め、新たな担い手の育成を含めて、将来にわたって農業生産活動が可能となる地域づくりを進める。

